

## 令和3年度 上鶴間高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

## ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上(法令の遵守、服務規律の徹底)	職員行動指針を再確認し、勤務時間外や職場外の行動についても、教育公務員としての高い倫理観を持って行動する。	毎月の職員会議の冒頭で事故防止会議を開催し、職員啓発・点検資料等を利用し、法令遵守や服務規律の再確認を行い、教育公務員としての高い倫理観を保つことができた。
職場のハラスメント(パワハラ、セクハラ、マタハラ等)の防止	職員が一人で悩みを抱え込むことがないように風通しの良い職場環境を築き、ハラスメントを防止する。	職場のハラスメント防止リーフレットを活用した職場研修を開催し、ハラスメント行為を防止することができた。 様々な不安を抱えている職員には、管理職より積極的に声を掛け、一人で抱え込むことがないように配慮を行った。
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	セクハラ・わいせつ行為をゼロにする。	非常勤職員も含め、全職員を対象に職場研修を行い、生徒との適切な連絡方法を徹底することができた。 管理職による教科準備室等の定期的な巡回を行い、適切に利用されていることを確認した。 セクハラ相談のポスターを掲示し、生徒に相談窓口を周知した。
体罰、不適切な指導の防止	体罰等の未然防止のための環境整備し、不適切な指導の発生を防止する。	体罰防止リーフレットを用いた校内研修を実施し、職員に対し人権意識を高めることができた。 個別に生徒指導を行う場合は、複数の職員で対応するように徹底することができた。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜、成績処理、進路関係書類等に係る事故をゼロにする。	入学者選抜業務、成績処理、調査書の発行等の各業務に対し、担当グループより詳細な業務マニュアルを作成し、職員に周知することができた。特に、成績処理に関しては、担当者より毎朝の打合せにおいて、その日の業務内容の説明することで、事故防止につながった。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の流出・滅失を未然に防止する。	事故防止会議や朝の打合せ等を用いて、日常的に点検及びチェックを行い事故防止に努め、個人情報の流出や滅失等の事故はなかった。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故の発生を未然に防止するとともに酒酔い、酒気帯び運転のゼロを維持する。	新学期や年末年始の事故が多発する時期には、朝の打合せ等で注意喚起を行うと共に、啓発点検資料を利用して交通事故の防止や酒酔い、酒気帯び運転禁止の徹底を図った。

業務執行体制の確保等(情報共有、相互チェック体制、業務協力体制)	各種業務執行に際して、職員の意識啓発やシステムの適正化を図り、事故を事前に防止する。	各業務の執行に際し、事前に詳細な打合せを行い、複数の職員でのチェックすることができた。特に経験の浅い若手職員には、管理職から直接個別指導を行った。
財務事務等の適正執行	私費会計の適切な執行についての認識を深め事故の発生を未然に防止する	決算書の作成、返金や繰越金の処理等について、全職員に周知すると共に、各会計担当者には管理職から注意喚起を行い、適切な会計処理を行うことができた。

○ 令和3年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和4年度に取り組むべき課題  
(学校長意見)

令和3年度は上記の課題に対し、ほぼ目標を達成することができた。また、常に職員との積極的な対話や傾聴に努め、必要に応じて個別面談を随時実施し、業務に対する不安感を払拭することができ、事故を未然に防止することができた。

次年度は新教育課程の完全実施や一人一台端末を利用した授業改善等の本来の教育活動に対する課題が山積することが予想される。生徒と向き合う時間を確保しつつ、働き方改革も推進する必要もあり、必要に応じた業務改善が求められる。

事故防止の原点は、職員の心と体の健康維持が一番であり、適切な業務量となるように、管理職が中心となり、業務改善を推進し、事故防止に努めたい。